

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
年度当初に働き方に係るスローガンを設定 共通理解・共通実践 やりがい・働きやすさ・同僚性 UP ストレス DOWN プロジェクト 「こ」…子どもファースト 「う」…ウェルビーイング 「なん」…何でも相談できる職場	
②学校名	
甲賀市立甲南中学校	連絡先 0748-86-2154
③取組分野(複数選択可)	
☒ 勤務時間の意識づけに関する取組 ☒ 部活動（外部人材、地域連携・地域展開、実施日・終了時刻変更等）に関する取組 ☒ その他 → 教職員の意識改革(ワークライフバランス、心理的安全性の高い職場づくり、同僚や生徒の少しの変化に気づける余裕づくり)	
④直面していた課題(取組前の様子)	
・学年担任を中心に帰宅時間が遅く、3割以上の教員が月の時間外勤務が45時間超という状況であった。 ・生徒指導上の課題解決に時間を割くことも多く、教職員の表情に元気があるとは言いきれない様子が見られた。	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
○「働き方改革スローガン」の設定、呼びかけ(⑥項を参照) ⇒教師の元気(生き生き働く姿)や一丸となり協力する様子は、生徒の最高のキャリアモデルであることを呼びかけ、スローガンの発表とともに、働き改革を始動させた。 ○ワクワク定時退勤日 ⇒本校の定時退勤日(水曜)は、「ワクワクする予定」を意図的に考え、楽しみの具体をもちながら、早く帰る段取りをし、元気の充電に充てる取組としている。 ○部活動をしない日の設定・徹底 ⇒「平日に1日、土日どちらか1日」ルールを確実に守る。 <u>取組のポイント</u> 教職のやりがいやワークライフバランスを意識し、そのことが指導の好循環につながることを実感し、楽しみながら働き方改革を進めることを目指し、取組を進めている。	甲南中学校 働き方改革スローガン やりがい・働きやすさ・同僚性UP ストレスDOWN プロジェクト!! やる時は こっぴり やめる時は あっさり
⑦取組の成果	こ 子どもファースト! ・子どもにかかわる時間増 ・使えるものはみんなで共有 ・業務のスリム化・効率化 ・最小限の労力で目的達成 う ウェルビーイング! ・心と体の健康 ・ワークライフバランス ・幸福感を感じられる毎日 ・どうせやるなら楽しく仕事 なん 何でも相談できる職場! ・心理的安全性の高い職場づくりをみんなで! ・声のかけ合いで不祥事防止 ・少しの変化に気づける余裕
毎日の勤務時間の縮減、年休取得率の向上により、個人の余暇時間や家庭生活も充実させながら仕事が行える環境が少しずつではあるが整ってきている。 ・月45h超 R5→3.2割 R6→2.7割 ・通勤時間 R5→35.2h R6→32.1h 教師の笑顔や元気、温かい同僚性が、生徒との関係に好循環をもたらす実感がもてる取組となったと捉えている。 ※中3生経年変化「気軽に相談できる先生がいる」における肯定回答 ⇒R4→62.1% R5→67.2% R6→70.9% <u>成果のポイント</u> 人生において大切な何かを犠牲にしながら働くのではなく、ワークライフバランスを意識しながら持続可能な働き方を選択することで、仕事においてもこれまで以上に時間を意識し効率的な働き方ができ、意欲や生きがい、やりがいの向上につながっているのではないかと評価している。	両輪 ○環境改善(ハード) ・業務量の削減(スリム化、効率化、共有、見直し) ・校務のICT化 ・人的な増員・増強 etc ○やりがいの向上(ソフト) ・職務の充実(自分だけで済む/責任・責任) ・役割の明確化(誰が、何を、いつまでに) ・失敗した時、困った時の支援体制 ・(バックアップ/フォローアップ) ・同僚同志の支えあい (励まし、声掛け、相談役、お互い様) etc ○超勤縮減＝ワークライフバランスの充実 一働きやすい職場＝ストレス減 ⇒ ⇒ ⇒ ○生徒と向き合う時間の増加＝〇〇しかできない仕事に注力 ⇒ 教職員の意欲、やりがいアップ⇒負担感減 ⇒ ⇒ ⇒ 働きやすい職場をみんなでつくっていく営み(教職員のウェルビーイングの向上)は、学校にとって最も大切な生徒への指導の充実につながる。 言い換えれば、生徒のためにもこの取組を私たちみんなで積極的に進めていく必要がある。 教職員のウェルビーイングの向上 (幸福感、心と体の健康) ↓ 生徒への指導の充実 プラス効果!